

十六日 同

からはな ひし まめあめ 雲かん むきぐり うすかわ

十七日 同

山ノいも 中にかき わりぐるみ くもだこ

からすみ うちぐり やうひ

十八日 同

つりがき ふ くもだこ あおけ んにん うんかん くすのり うすかは からはな ところ

以上

〔法皇御幸九條殿撰物雜記〕享保七壬寅年三月廿七日壬子、九條前關白 輔實公 亭靈仁 ○ 御幸御膳

懸盤 儲居次第

御打敷 表青地小紋、裏平絹、二藍打物也、在上

懸盤六圖

御膳色目

御打敷 紺地小紋、打裏

一 御膳 第一ノ御膳、第二ノ御飯、御器皆

二 四種 銀ノ種共ニ鹽梅ヲ加ヘズシテ、

酒酢 鹽馬頭盤 銀御箸一雙、銀ヒ一支、

三 窪器

海月 割テ少シ鹽モ、キヨミ 雉鴨等ニテツクリ、其鳥髓ナリ、民間ニ云、タ、キト

四 菓子四坏

鯛醬 鯛ノ肉ヲキリアヘテ、タ、キノ如クベシ、 鮫 鮫産ニシテ、彼國ヨリ供セシトナリ、